**新型コロナワクチン接種について**

周りに広げない

後遺症を防ぐ

重症化を防ぐ

自分の感染を防ぐ

時間がない

副反応が心配

【　接種メリット　】

【　接種デメリット　】

【後遺症について】

long COVIDと呼ばれる**後遺症（嗅覚・味覚障害、思考・集中力の低下、倦怠感、脱毛等）**があります。

コロナ罹患後、16歳～30歳では52％に長期的な後遺症が認められています。よって、10代後半であれば積極的に接種する意義があると思われます。

　15歳以下ではlong COVIDは比較的少ないと報告されていますが、小さな子供では症状を訴えることが難しく、過小評価している恐れがあります。

【副反応について】

　予防接種後の副反応で多いのは、**接種部位の痛みや腫れ、発熱、倦怠感**です。

　急な発熱に際し、熱性けいれんの既往のある方は注意が必要です。

　5歳～11歳の子供に関しては接種量が12歳以上の1/3量になる為、比較的症状は軽いと言われています。

　稀に重篤な副反応として、アナフィラキシーショックや心筋炎・心膜炎などがあります。

　若年女性に多いアナフィラキシーショックに関しては、接種場所で適切な処置を行うことで大事に至ることは極めて稀です。

　若年男性に多い心筋炎・心膜炎は無治療で軽快することがほとんどで、ワクチン接種による副反応よりもコロナに罹患する方が高頻度で起こると言われています。

☆接種をした方がよいのか・・・

　**基礎疾患のある子供や肥満児**はコロナ罹患時に重症化するリスクが高いと言われていますので、接種を推奨しています。

健康な子供に関しては、コロナに罹患してもＲＳやインフルエンザに比べて圧倒的に症状が軽いので、本人や保護者がワクチン接種のメリット・デメリットを十分に理解し、納得した場合は接種を推奨しています。

　接種に関して不安や迷いがある場合は、それらが解消するまで接種を控え、様子を見てもよいでしょう。

🌞たいようファミリークリニック🌞